讀賣新聞
ワークシート通信
2023年 5月 24日
★★
100万本の感謝

年　　組（　　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆「母の日」（5月14日）を前に、プレゼント用の花の出荷作業が大詰めを迎えました。

100万本の感謝

母の日（14日）を前に、全国有数のカーネーション産地である愛知県西尾市で出荷作業が最盛期を迎えている＝写真、菅野靖撮影＝。JA西三河の選花場では、従業員が農家から届いた赤やピンク、白など色とりどりの花を切りそろえて箱詰めしていた。「お母さん、ありがとう」の気持ちを込め、この時期には約100万本が主に東京、大阪、名古屋方面に出荷される。

（2023年5月10日　読売新聞夕刊より）

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【1】花の名前はなんですか。

□□□□□。□

【2】この花の絵を裏にかきましょう。

©The Yomiuri Shimbun

年　　組（　　）名前

サイン

◆ジンベエザメが深海の青い光を感じ取れる目を持っていることが分かったと、日本の研究チームが発表しました。

（2023年5月9日　読売新聞朝刊より）

▲ 微弱な光を活用できるよう視覚が進化したとみられるジンベエザメと、餌を与えるサンタクロース姿のダイバー

ジンベエザメ 深海の光捉える

遺伝研など発表 独自進化か

世界最大の魚類ジンベエザメは、深海にわずかに届く青い光を感じ取れる目を持つことが分かったと、国立遺伝学研究所や大阪公立大などのチームが発表した。海面付近と深海を行き来する生態に合わせて視覚が独自に進化した可能性があるという。論文が米科学アカデミー紀要に掲載された。

ジンベエザメは最大で体長10㍍以上に成長する。海面近くでプランクトンを食べる一方、水深約2000㍍まで潜ることが知られているが、光が届きにくい深海でどう過ごしているかはほとんど分かっていない。

チームは、暗い場所で働くセンサーの役割を担う網膜のたんぱく質に着目。このたんぱく質をDNAの情報をもとに合成し、どんな光に反応するか実験した。その結果、深海に最も届きやすい青い光を効率良く受け取れることがわかった。

チームの工藤樹洋（くどうじゅよう）・同研究所教授（動物分子進化学）は「他の生物にはない方法で深海の光を活用しているようだ。今後もDNAの情報を駆使し、謎の多い生態に迫りたい」と話す。

河村正二・東京大教授（進化遺伝学）の話「ジンベエザメの目のセンサーには、暗くても暖かいと適切に働かないような変化が起きている。暗く低温の深海に適応した結果と考えられる。進化の柔軟さを示す興味深い成果だ」

【1】ジンベエザメの目が青い光を感じ取るメカニズムがどのようにして明らかになったのか、記事を読んでまとめましょう。

【2】ジンベエザメ以外（いがい）のサメの種類（しゅるい）や生態（せいたい）について、調べましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信
2023年 5月 24日
★★★★
名刺に点字　サービス好評

年　　組（　　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆東京・文京区にある地域交流拠点「谷根もりばぁ」で、名刺に点字を打ち込むサービスが評判を呼んでいます。

名刺に点字 サービス好評

文京の地域交流拠点

文京区根津にある地域交流拠点「谷根もりばぁ」で、名刺に点字を打ち込むサービスが評判を呼んでいる。これまでに約40人から5000枚近い注文が寄せられた。運営する松下純子さん(59)が区議時代の経験を踏まえて始めたもので、松下さんは「みんなが点字の名刺を当たり前に持つ社会になってほしい」と願っている。

専用の機器で名刺に点字を打ち込む榑谷さん（左）と松下さん（文京区の谷根もりばぁで）

前区議の松下さん 普及願い開始

谷根もりばぁは、前区議の松下さんらが中心となり、2021年12月に古いビルを古民家風に改装してオープン。手話やみそ造り教室、落語の高座などを開いていて、地域住民の憩いの場所になってきた。

点字サービスを始めたのは昨夏頃から。区議を務めていた時、松下さんは視覚障害者に何げなく普通の名刺を渡したことがあったという。「目が見えない人にとって点字のない名刺は『ただの紙』。失礼なことをしてしまった」と松下さんは当時を振り返る。その後、自身の名刺には点字をつけたが、世間ではまだ普及していないと痛感する。

導入にあたり、松下さんは専用の機器を購入した。多数の穴が開いた板に金属製のピンを一つ一つ差し込んで原板を作り、名刺にピンで点字を打ち込む仕組みだ。作業を担当するのは、区内に住む榑谷翠さん(26)。点字を一から勉強し、今では原板作りから名刺100枚に点字を打つ作業まで1時間もかからなくなった。榑谷さんは「自分が作った点字の名刺が多くの人の手元に届いたらうれしい」とやりがいを語る。

点字の打ち込みは名刺1000枚で1000円。松下さんと知己のある議員や慈善団体、企業の代表などに声をかけてきた。松下さんは4月の区議選に出馬せず、今後は点字の普及活動に力を入れていくといい、「名刺に点字がついていれば、受け取った健常者にも共生社会について考えてもらえるきっかけになる」と力を込める。

（2023年5月14日 読売新聞都民版より）

【1】視覚障害者は、毎日の暮らしで、どのようなことに不便を感じていると思いますか。障害者の気持ちになって考えましょう。

【2】障害者が暮らしやすい社会にするため、行政はどのような問題に取り組むべきだと思いますか。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信
For SDGｓ
2023年 5月 24日
★★★★
広島サミット　中高生が訴え

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

年　　組（　　）　名前

サイン

各国首脳へ 中高生訴え

被爆者の声 じっくり聞いて

5月に広島市内で開かれる先進7か国首脳会議（G7サミット）で、各国首脳が被爆者と面会し、十分な時間を確保した上で広島平和記念資料館を見学するよう求めるオンラインの署名活動を、市内の高校生らが行っている。核兵器廃絶に向けて各国首脳に被爆の実相を理解してもらうための活動で、集まった署名は3月下旬に外務省に提出する予定だ。

署名活動しているのは、4月から広島大に進学する安田女子高3年の岡島由奈さん(18)と、川崎市在住で中学3年の大林美晴さん(15)。岡島さんは曽祖父を原爆で亡くしており、中学生以降、被爆証言の聴講を重ね、核廃絶の署名などを行う高校生平和大使の活動にも携わってきた。

岡島さんが初めて聞いた被爆証言は、広島駅近くで直接被爆し、被爆者であることを知られて離婚を強いられ、女手一つで子育てした女性の話。証言を聞き、「原爆は生き残った人にも苦しみを負わせるのか」と衝撃が走った。

サミットの広島開催が決定した昨年、2016年5月のオバマ米大統領（当時）の広島訪問の事例を調べた。オバマ氏の資料館の視察は約10分にとどまり、被爆者とも短い言葉を交わしただけだったことを知った。

「痛み、苦しみを知る人の声が、一番人を動かせるはず」。被爆証言を各国首脳に聞いてもらおうと署名を思い立ち、これまでの活動で知り合った大林さんに声をかけた。「核政策を知りたい広島若者有権者の会」（カクワカ広島）とも連携し、署名を呼びかける文書を英語のほか仏独伊の3言語でも作った。

3月からインターネットサイト「Change.org」で署名活動を始めたところ、既に1万8000筆超が集まるなど、大きな反響があった。

被爆者は高齢化しており、岡島さんは「各国首脳が一堂に会して被爆証言を聞く機会は今回が最後かもしれない。核が使われたら何が起こるか、当事者の声に触れてほしい」と願い、「中身のある議論で核廃絶への具体的な道筋を示してほしい」と期待する。

G7 広島サミット 2023

資料館を訪れた要人や著名人らが残した主なメッセージ

95年　ノーベル平和賞受賞者　ダライ・ラマ14世

言葉に表せない、想像を絶する破壊力を持つ兵器をこの地上から廃絶することは、我々人間すべての務めです

2005年　ウクライナ大統領　ビクトル・ユシチェンコ

文明のもっとも恐ろしい大惨事を心に刻みます。核の脅威のない世界をつくるために我々は友人である日本国民と完全に連帯しています

08年　米国下院議長　ナンシー・ペロシ

広島への訪問は戦争の破壊力を強く思い出させるものであり、すべての国が平和を推進し、より良い世界を築くことが緊急の課題であることをはっきりと示しています

◆先進国のリーダーが集まって世界的な課題を話し合う「G7サミット」が、被爆地の広島で開かれました。　（2023年3月15日　読売新聞広島版、5月12日　読売新聞大阪夕刊より）

16 平和と公正をすべての人に

【1】広島に集まった各国のリーダーは、核兵器の廃絶について、実際にどのような発言をしましたか。新聞やニュースサイトなどから調べ、印象に残った言葉を書きましょう。

【2】あなたならば、日本を訪れる各国のリーダーにどのようなことを訴えたいですか。記事の内容や、これまでの学習から感じた「平和」への思いを意見文にまとめ、裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

読売新聞社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 5月 24日

★★★ ＜たのしい英語＞ happen to

年　　組（　　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

猫ピッチャー そにしけんじ
NeKo Pitcher ⑨⑧ Kenji Sonishi

◆ミー太郎がファン投票1位になり、記者が取材に来ました。彼が話を聞いているのは誰でしょうか？

happen to ～

たまたま～する、偶然～する

「happen」は「起こる」という意味で、「～」に動詞を入れて使います。疑問文では「ひょっとして～」という意味になります。

★こんな表現も使ってみよう★

- chance to ～　偶然～する
- by chance　・by accident

（いずれも）偶然にも、たまたま

単語帳

vote：投票で選出する、stray：道に迷った、wander：迷い込む、facility：施設

★なぞってみよう★

happen to

by chance

©The Yomiuri Shimbun